

●二十四節気

(にじゅうしせっき)

太陽年を太陽の黄経に従って24等分して、季節を示すのに用いる。

※太陽年=太陽が春分点を通過してから、再び春分点に帰るまでの時間365.24219日余で、新暦の一年にほぼ相当。

※黄経=黄道(天球上を太陽が運行する道)と赤道(地球の赤道面と交わる天球上の線)の交点(春分点)から東の方へ測った角度。

※分け方=①冬至と夏至→②春分と秋分→③立春・立夏・立秋・立冬→④二至二分と四立でできた八節を更に3分割し各月に二つずつ配したのが二十四節気

〈春〉	立春★	旧暦正月節	黄経315度	新暦 2月 4日頃☆	「春の気たつを以て也」(天明8年(1788)出版の暦の解説書「暦便覧」より。以下同じ)
	雨水	旧暦正月中	黄経330度	新暦 2月19日頃	「陽気地上に発し、雪氷とけて雨水となれば也」
	啓蟄	旧暦二月節	黄経345度	新暦 3月 6日頃	「陽気地中にうごき、ちぢまる虫、穴をひらき出れば也」
	春分★	旧暦二月中	黄経 0度	新暦 3月21日頃★	「日天の中を行て昼夜等分の時也」
	清明	旧暦三月節	黄経 15度	新暦 4月 5日頃	「万物発して清浄明潔なれば、此芽は何の草としれる也」
	穀雨	旧暦三月中	黄経 30度	新暦 4月20日頃	「春雨降りて百穀を生化すれば也」
〈夏〉	立夏★	旧暦四月節	黄経 45度	新暦 5月 6日頃☆	「夏の立つがゆへ也」
	小満	旧暦四月中	黄経 60度	新暦 5月21日頃	「万物盈満(えいまん)すれば草木枝葉繁る」
	芒種	旧暦五月節	黄経 75度	新暦 6月 6日頃	「芒(のぎ)ある穀類、稼種する時なれば也」
	夏至★	旧暦五月中	黄経 90度	新暦 6月21日頃★	「陽熱至極しまた日の長きのいたりたるを以て也」
	小暑	旧暦六月節	黄経105度	新暦 7月 7日頃	「大暑来れる前なれば也」
	大暑	旧暦六月中	黄経120度	新暦 7月23日頃	「暑気いたりつまりたるゆへなれば也」
〈秋〉	立秋★	旧暦七月節	黄経135度	新暦 8月 8日頃☆	「初めて秋の気たつがゆへなれば也」
	処暑	旧暦七月中	黄経150度	新暦 8月23日頃	「陽気とどまりて、初めて退きやまんとすれば也」
	白露	旧暦八月節	黄経165度	新暦 9月 8日頃	「陰気ようやく重なりて露こごりて白色となれば也」
	秋分★	旧暦八月中	黄経180度	新暦 9月23日頃★	「陰陽の中分なれば也」
	寒露	旧暦九月節	黄経195度	新暦10月 9日頃	「陰寒の気に合って、露むすび凝らんとすれば也」
	霜降	旧暦九月中	黄経210度	新暦10月23日頃	「つゆが陰気に結ばれて、霜となりて降るゆへ也」
〈冬〉	立冬★	旧暦十月節	黄経225度	新暦11月 7日頃☆	「冬の気立ち初めて、いよいよ冷ゆれば也」
	小雪	旧暦十月中	黄経240度	新暦11月22日頃	「冷ゆるが故に雨も雪となりてくだるがゆへ也」
	大雪	旧暦十一月節	黄経255度	新暦12月 7日頃	「雪いよいよ降り重ねる折からなれば也」
	冬至★	旧暦十一月中	黄経270度	新暦12月22日頃★	「日南の限りを行て日の短きの至りなれば也」
	小寒	旧暦十二月節	黄経285度	新暦 1月 5日頃	「冬至より一陽起るが故に陰気に逆らう故、益々冷る也」
	大寒	旧暦十二月中	黄経300度	新暦 1月20日頃	「冷ゆることの至りて甚だしきときなれば也」

●五節供(節句)

(本来は全て旧暦)

人日(じんじつ)の節供	…七草粥の節供	一月七日	…古代中国では正月1日から鶏、狗、猪、羊、牛、馬の順に占いを立て、七日になって人の占いを始めた
上巳(じょうし)の節供	…桃の節供(雛祭)	三月三日	…元は旧暦3月の最初の巳の日の行事で河で禊ぎを行った。中国三国時代の魏でこの日に固定とか
端午(たんご)の節供	…菖蒲の節供	五月五日	…端午は月初めの「午」の日の意味で、「午」は発音が「五」に通ずることと重日思想から
七夕(たなばた)の節供	…笹の節供	七月七日	…江戸時代には七夕と書いて「シチセキ」と読んだ星祭りの日。地方により新暦・旧暦・月遅れと様々
重陽(ちょうよう)の節供	…菊の節供	九月九日	…九が重なる重日思想から発した祭日。九は一桁の奇数(陽数)で一番大きな数で、それが重なるので重陽

●雑節<抜粋>

(日本独自の暦日)

土用	…立春・立夏・立秋・立冬の前18日(cf.五行説)	入梅	…黄経が80度の日(6月10日頃)で暦の上での梅雨入り
節分	…立春・立夏・立秋・立冬の前日	半夏生(はんげしょう)	…黄経が100度の日(7月1日頃)で半夏の毒草が生じるという日
彼岸	…春分・秋分の日をはさんだ七日間	二百十日	…立春から210日目(9月1日頃)で嵐を警戒する日
八十八夜	…立春から88日目(5月1日頃)で「…の別れ霜」とも	二百二十日	…立春から220日目(9月11日頃)で嵐を警戒する日